

保々の自然に親しむ会

URL : <http://hobo.sub.jp/>



活動紹介

- 活動場所：四日市地域（三重県北勢中央公園）
- 活動日、活動頻度等：定例活動日 第2木曜日・第4日曜日
- 活動内容

1. 里山環境保全活動の推進

平成14年から三重県営北勢中央公園内の県認定地、里地里山保全活動地の2ヶ所に於いて、長年放置され荒廃してきた里山や耕地を生物多様性のある明るい休耕地の里地里山として復元するために、竹藪・雑木の伐採や復元耕地畑周辺の草刈り・除草等の月例作業を実践すると共に、谷津の環境維持の為にビオトープ造りや、29年度から3年かけて自然林散策路の階段の整備と案内板の設置を実施しました。

又、ブナ科に発生する伝染病によるナラ枯れの伐採片付け作業も行い、被害の拡大防止に努めています。尚2022年度は、北勢中央公園の自然再生・創出また、緑陰や景観向上の為に樹木苗木、および野草苗の植樹会を公園管理者と共催で実施出来たので、今後継続していくことで蝶や昆虫が棲める森にしていきたい。

2. 自然観察会の開催

年間を通して植物・ホタル・野菜・野鳥・星空の観察会などを通して保々の自然について活発な学習会に努めている。

3. 青少年体験活動の推進

小学校の総合学習と連携して復元した耕地畑では一般市民や青少年、小中学生を対象に毎年行い、自然環境への理解・知識の啓発として、1～2年生・幼稚園児はさつまいもの植え付けと芋ほり体験、5年生は、米作り体験で田植えと水の管理、昔ながらの稲刈り、脱穀の作業を体験し、自然の恵みと食の大切さを学習しています。

代表者の想い

保々地区の自然を再認識し、地域内の環境問題改善に役立てると共に、世代間交流を進めながら地域住民、会員相互の親睦と交流を図りながら、自然の恵みを後世に継承していきたい。

〈ビオトープ草刈り作業〉



〈樹木苗木、野草苗植樹会〉



〈A地区入口橋手摺り取付〉

